



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ

コード番号 7280

URL <https://www.mitsuba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 武井 良明 (TEL) 0277-52-0113

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	156,517	△4.8	3,016	△50.8	2,177	△64.5	△2,427	—
2019年3月期第2四半期	164,480	0.9	6,126	△11.1	6,140	△19.9	△484	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △7,928百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 2,229百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△54.23	—
2019年3月期第2四半期	△10.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	332,530	63,376	14.4
2019年3月期	334,679	72,738	17.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 47,761百万円 2019年3月期 56,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	△4.0	9,000	△17.9	9,000	△16.0	500	—	11.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	45,581,809株	2019年3月期	45,581,809株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	824,124株	2019年3月期	824,079株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	44,757,726株	2019年3月期2Q	44,758,054株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2019年12月2日にアナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に伴う不透明感の高まりから、企業の設備投資に対する慎重な姿勢が見られるなど、世界的に景気の減速感が強まりました。米国では個人消費は底堅いものの、設備投資の伸び悩みなど、景気の拡大ペースは緩やかなものとなりました。欧州では生産の低迷や設備投資に弱さが見られるなど、低迷が長期化しております。また、中国では輸出入が弱含み、消費の伸びが鈍化し、景気は緩やかに減速しました。一方、我が国の経済は、世界経済の減速懸念から輸出の弱含みの中、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復となりました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は中国での売上減少影響もあり、1,565億17百万円（前年同期比4.8%減）、連結営業利益は30億16百万円（前年同期比50.8%減）、連結経常利益は為替の影響等により21億77百万円（前年同期比64.5%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は24億27百万円（前年同期は4億84百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は1,478億93百万円（前年同期比6.2%減）となり、セグメント利益は21億12百万円（前年同期比63.5%減）となりました。

情報サービス事業の売上高は80億20百万円（前年同期比27.4%増）となり、セグメント利益は7億6百万円（前年同期比413.0%増）となりました。

その他事業の売上高は32億5百万円（前年同期比0.2%増）となり、セグメント利益は1億89百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,325億30百万円（前連結会計年度末3,346億79百万円）となり、21億48百万円減少しました。流動資産は1,812億40百万円となり57億22百万円減少し、固定資産は、1,512億90百万円となり35億73百万円増加しました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が29億49百万円減少したことが主な要因です。固定資産は、建設仮勘定が30億55百万円増加したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,691億54百万円（前連結会計年度末2,619億41百万円）となり、72億13百万円増加しました。流動負債は、1,369億11百万円となり122億59百万円増加し、固定負債は1,322億42百万円となり50億45百万円減少しました。

流動負債は、短期借入金が157億75百万円増加したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金49億72百万円減少したことが主な要因です。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、633億76百万円（前連結会計年度末727億38百万円）となり、93億62百万円減少しました。これは為替換算調整勘定の減少が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億33百万円増加し602億29百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、106億53百万円（前年同期は48億94百万円）となりました。この主な要因は、減価償却費75億41百万円と、仕入債務の増減額28億円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、160億69百万円（前年同期は105億60百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出162億3百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で得られた資金は、89億52百万円（前年同期は39億10百万円の支出）となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入70億23百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績見直しにつきましては、下半期インドでの排ガス規制による新製品立上げと新車立上げ効果で売上高は回復が見込まれます。収益面は、内製化を中心としたコスト改善や固定費削減活動の継続及び品質不具合対応費用の抑制で収益効果が見込まれます。しかし、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に伴う市場の不透明感もあり、通期では非常に厳しい状況が予測されます。収益確保に向け、生産体制を含めた業務効率の向上を行ってまいります。

このような状況から、業績予想の見直しを行った結果、2019年5月8日に公表しました2020年3月期の業績予想を、以下の通り修正します。また、配当予想につきましても、8.00円から未定へ修正します。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当予想の修正(未定)に関するお知らせ」をご覧ください。

通期の連結業績予想

売上高	320,000百万円	(前回予想	335,000百万円)
営業利益	9,000百万円	(同	12,000百万円)
経常利益	9,000百万円	(同	12,000百万円)
親会社株主に帰属する			
当期純利益	500百万円	(同	3,500百万円)

(参考)

通期の個別業績予想

売上高	146,000百万円	(前回予想	150,000百万円)
営業利益	△600百万円	(同	1,000百万円)
経常利益	2,700百万円	(同	5,000百万円)
当期純利益	200百万円	(同	1,000百万円)

業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,672	63,907
受取手形及び売掛金	53,386	50,437
有価証券	99	99
商品及び製品	12,748	11,444
仕掛品	6,801	5,205
原材料及び貯蔵品	30,568	30,725
その他	21,714	19,523
貸倒引当金	△29	△102
流動資産合計	186,962	181,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,917	75,987
減価償却累計額	△45,291	△46,670
建物及び構築物(純額)	29,626	29,317
機械装置及び運搬具	150,841	152,472
減価償却累計額	△112,108	△111,722
機械装置及び運搬具(純額)	38,732	40,749
工具、器具及び備品	53,114	52,384
減価償却累計額	△47,635	△46,872
工具、器具及び備品(純額)	5,479	5,511
土地	7,455	8,352
リース資産	6,004	6,145
減価償却累計額	△2,693	△2,757
リース資産(純額)	3,310	3,387
建設仮勘定	21,107	24,162
有形固定資産合計	105,712	111,482
無形固定資産		
ソフトウェア	1,786	1,846
ソフトウェア仮勘定	229	91
その他	1,965	1,449
無形固定資産合計	3,981	3,387
投資その他の資産		
投資有価証券	18,593	17,218
長期貸付金	2,263	2,195
繰延税金資産	2,425	2,087
長期前払費用	2,569	1,911
退職給付に係る資産	10,613	11,411
その他	1,572	1,607
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	38,023	36,419
固定資産合計	147,717	151,290
資産合計	334,679	332,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,062	27,194
短期借入金	59,277	75,053
未払金及び未払費用	21,893	19,382
未払法人税等	1,791	1,643
賞与引当金	4,725	4,841
役員賞与引当金	81	125
製品保証引当金	1,865	1,268
和解金等引当金	825	1,100
その他の引当金	979	17
その他	7,148	6,284
流動負債合計	124,652	136,911
固定負債		
社債	—	150
長期借入金	122,932	117,959
長期末払金	456	316
繰延税金負債	6,789	6,777
退職給付に係る負債	1,638	1,770
その他	5,471	5,268
固定負債合計	137,288	132,242
負債合計	261,941	269,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,572	15,447
利益剰余金	36,096	32,953
自己株式	△602	△602
株主資本合計	60,951	57,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665	△388
為替換算調整勘定	△4,265	△9,159
退職給付に係る調整累計額	△380	△373
その他の包括利益累計額合計	△3,980	△9,921
非支配株主持分	15,767	15,614
純資産合計	72,738	63,376
負債純資産合計	334,679	332,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	164,480	156,517
売上原価	140,996	137,845
売上総利益	23,483	18,672
販売費及び一般管理費	17,356	15,655
営業利益	6,126	3,016
営業外収益		
受取利息	409	318
受取配当金	259	304
持分法による投資利益	604	457
その他	451	542
営業外収益合計	1,724	1,622
営業外費用		
支払利息	803	953
為替差損	518	933
その他	389	574
営業外費用合計	1,711	2,461
経常利益	6,140	2,177
特別利益		
固定資産売却益	36	21
投資有価証券売却益	69	3
その他	10	12
特別利益合計	115	37
特別損失		
固定資産除却損	65	95
減損損失	10	26
投資有価証券評価損	—	164
取引調査関連損失	202	69
和解金	1,658	—
和解金等引当金繰入額	—	275
その他	455	92
特別損失合計	2,390	724
税金等調整前四半期純利益	3,865	1,489
法人税等	3,233	2,869
四半期純利益又は四半期純損失(△)	632	△1,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,116	1,048
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△484	△2,427

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	632	△1,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△508	△1,049
為替換算調整勘定	2,395	△5,557
退職給付に係る調整額	△1	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	△287	66
その他の包括利益合計	1,597	△6,549
四半期包括利益	2,229	△7,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,222	△8,368
非支配株主に係る四半期包括利益	1,006	439

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,865	1,489
減価償却費	8,151	7,541
受取利息及び受取配当金	△669	△622
支払利息	803	953
持分法による投資損益(△は益)	△604	△457
有形固定資産売却損益(△は益)	△29	△12
売上債権の増減額(△は増加)	5,055	870
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,706	1,028
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,684	2,800
その他	△374	△12
小計	7,808	13,579
利息及び配当金の受取額	695	550
利息の支払額	△815	△945
法人税等の支払額	△2,794	△2,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,894	10,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,941	△16,203
有形固定資産の売却による収入	413	527
投資有価証券の取得による支出	△26	△87
貸付けによる支出	△981	△1,109
貸付金の回収による収入	1,115	1,185
その他	1,860	△381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,560	△16,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,438	6,684
長期借入れによる収入	16,436	7,023
長期借入金の返済による支出	△16,583	△2,371
配当金の支払額	△716	△716
非支配株主への配当金の支払額	△511	△713
その他	△1,097	△956
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,910	8,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△1,403
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,591	2,133
現金及び現金同等物の期首残高	76,278	58,096
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,224	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,910	60,229

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

IFRS第16号の適用により、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社では主に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、グループ会計方針の統一及び、より適正な期間損益計算の観点から減価償却方法について再検討したところ、過去の投資及び使用実績、将来の投資及び使用計画等から、有形固定資産は耐用年数内で長期安定的に稼働することが見込まれることにより、定額法を採用することが有形固定資産の実態をより適正に反映する合理的な方法であると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6億60百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	157,332	5,277	1,870	164,480	—	164,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	302	1,017	1,326	2,647	△2,647	—
計	157,634	6,295	3,197	167,127	△2,647	164,480
セグメント利益	5,784	137	224	6,147	△20	6,126

(注) 1. セグメント利益の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	147,610	6,887	2,020	156,517	—	156,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	283	1,132	1,185	2,601	△2,601	—
計	147,893	8,020	3,205	159,119	△2,601	156,517
セグメント利益	2,112	706	189	3,007	8	3,016

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社、国内連結子会社及び一部の海外連結子会社では主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が「輸送用機器関連事業」で6億39百万円、「情報サービス事業」で14百万円、「その他事業」で6百万円、それぞれ増加しております。